

例会日 毎週金曜日 **時間** 12:30~13:30 **例会場・事務局** 上尾市中妻 3-11-2(3 F)

TEL 048-771-7888 FAX 048-771-9589

国際ロータリー第 2770 地区

上尾北ロータリークラブ会報

会長 大國 博 副会長 金子 禎伴 幹事 斎藤 雅彦 公共イメージ・会報 金子 禎伴



ロータリーのマジック

No.1346

第1907例会(2025.2.7)

2025. 2. 21 発行

- ○司会 金子一夫 S.A.A.
- ○点鐘 大國会長
- ○国歌斉唱
- ○ロータリーソング「奉仕の理想」
- 〇お客様 上尾西 RC 菅沼真弓様 スポンサークラブフォルテ代表

2月は平和と 紛争予防月間

会長挨拶

大國会長



皆さんこんにちは。本日は上尾西RCボディケアインストラクターの菅沼真弓様に外部卓話でおいでいただきました。4年前にも来ていただき好評でしたので、お忙しいところお願い致しました。後程卓話を宜しくお願いします。

さて先月の理事会前に2025年度の米山奨学生の世話クラブ立候補募集の案内があり、皆様に伺ってみましたが、そもそも米山奨学生とは?ということでしたので先ずはその背景についてお話したいと思います。1949年東京ロータリークラ

ブを皮切りに京都、大阪、神戸、名古屋、静岡、 札幌などが国際ロータリーへの復帰を果たしま した。そこでロータリー財団の奨学金事業が広く 実施されているのを目の当たりにし「日本のロー タリアンもせめて日本にいる外国の留学生諸君 をときどき慰めてやるような催しは出来ぬもの か」と考えるに至ります。戦後なお国際社会にお ける日本への警戒心、反日感情は強く、アジア諸 国との友情こそが今後の日本の生きる道である という認識が存在し、今後日本の生きる道は平和 しかない。それをアジアに、そして世界に理解し てもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え 入れ平和を求める日本人と出逢い、信頼関係を築 くこと、それこそがの本のロータリーで最も相応 しい国際事業ではないか、そういう事業創設の背 景がありました。

1952年12月、東京ロータリークラブが「米山基金」の構想を発表、そしてその構想当初から全国組織化を視野に入れており1957年には全国組織「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、翌年初の選考試験を行って全国の大学から8人の奨学生が採用されました。1960年に「ロータリー米山記念奨学会」に変更され、以降この名称が受け継がれています。1967年国内全クラブが寄

付金を確約することを条件に「財団法人ロータリ 一米山記念奨学会」が誕生した。米山奨学生に 1978年には初めて特別寄付が普通寄付を上回り、 同年特別寄付金に対する免税措置が認可された ことによりさらなる寄付の促進が図られた。1980 年代に入ると国内外で米山奨学生による同窓会 組織、すなわち米山学友会の結成の動きが本格化 していく。1990年代好景気に支えられ、会員数 は 1996-97 年度に過去最高の 13 万に到達し、米 山記念奨学会への寄付が組20億8200万円は当奨 学会史上最高額となっています。その後、バブル 経済の崩壊、95年の阪神淡路大震災と言った不 安要因が寄付額にも影響しはじめ、1000人超に 急成長した奨学規模を維持するため、積立金を取 り崩しながらの継続へと一転して資金不足に苦 しむことになっていった。2000年代に入ると寄 付金減少による財政難のなか、奨学生の採用数を 1000人から800人へ奨学金も平均7%の減額など が実施された。2004年米山記念奨学事業が RI に おいて多地区合同奉仕活動として認められ、ロー タリーの名称を引続き使用することが認められ、 日本全地区によるロータリー多地区合同奉仕活 動として認定されました。2011年3月11日の東 日本大震災の直後から米山記念奨学会には世界 中の米山学友から多額の義援金が送られ総額は 760 万になりました。2012 年には公益財団法人へ の移行手続きが完了し、従来以上の透明性や説明 責任を果たすことが求められ、その一環として 「全国統一の選考基準と評価表」が策定され、以 降各地区において基準にのっとった奨学生の選 考の徹底が図られています。ざっと米山記念奨学 事業50年の歩みを「米山だより」を抜粋しまし

ここからは「ロータリーの基礎」からの引用に なりますので重なる部分がありますがお許しく ださい。ロータリー米山記念奨学事業とは、全国 のロータリアンからの寄付金を財源として日本 で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支援する国 際奨学事業であります。将来日本と世界とを結ぶ 「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリ 一運動のよき理解者となる人材を育成すること が事業の使命であります。その歴史は約70年前 にさかのぼります。平和を愛し、青少年に手を差 し伸べた「日本ロータリーの父」米山梅吉氏の徳 を祈念する事業として1952年東京ロータリーク ラブの共同事業として発展し1967年文部省(現・ 文部科学省)を主務官庁とするロータリー米山記 念奨学会が設立された。世界に類を見ない日本ロ ータリー独自の多地区合同奉仕活動となってい

る。その特色の一番目は米山奨学生の採用は 2022 年度は898人。総事業費は14億5千万円で あった。世界規模で展開しているロータリー財団 国際親善奨学生の年間採用数とほぼ同じである。 これだけの外国人留学生を支援している奨学団 体は事業規模、採用数ともに日本国内では民間最 大である。これまでの支援した奨学生の累計は 22875人(2022年7月現在)その出身国は世界 129の国と地域に及ぶ。米山学友(元米山奨学生) は韓国駐日大使やスリランカ警察庁長官、韓国、 台湾のガバナーに就任した人など、世界中で活躍 しているそうです。米山奨学金には奨学金による 経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自 の世話クラブとカウンセラー制度による心の通 った支援があります。日本には2200のロータリ ークラブがありますが、そのうち一つのクラブが 一人の奨学生の「世話クラブ」となり、米山奨学 生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータ リー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解 を深めるとともにロータリーの奉仕の心を学び ます。世話クラブで行われることは

- 1. 米山奨学生は月に1回例会に出席
- 2. 奨学金の受け渡し
- 3. スピーチその他、親睦活動・h 上司活動はの参加など

そしてカウンセラーとは、奨学生一人に対し世話 クラブのロータリアンの中から一人がカウンセ ラーとなる。カウンセラーは奨学生の個人的ケア にあたるアドバイザーである。米山奨学生とロー タリアンの交流は相互理解のみならず双方にと って財産となるものである。ロータリー米山記念 奨学会では「指定校・学校推薦制度」によって奨 学生の募集と選考を行っている。この制度は各口 ータリー地区の選考委員会が大学を指定し各指 定校から候補者を推薦してもらい、学内選考で選 ばれた申込者を各地区の選考委員会が先行する システムである。従って応募学生は在籍する学校 での選考とロータリーの地区選考委員会による 選考の2段階の選考を受けることになる。指定校 はロータリー地区選考委員会で毎年協議され、8 月中旬ごろ米山記念奨学会HPに掲載される。ロ ータリー米山記念奨学金の種類は学部課程で月 額10万円。修士課程で14万円、博士課程で14 万円です。そして奨学会に対する寄付金は普通寄 付金として日本の全ロータリーアンからクラブ を通じて定期的に寄付していますが、当クラブは 5千円、特別寄付金は個人、クラブまたは法人と して普通寄付以外に寄付されるもので当クラブ はひとり 20000 円しています。これに対しては税

制上の優遇措置があります。また表彰制度もあり 準米山功労者、米山功労者という制度もあります。

幹事報告

斎藤幹事

- ◇2025 年度米山記念奨学生世話クラブ決定のお 知らせ
- ◇ロータリークラブセントラルセミナーのご案 内 3/8 ソニックシティホール

委員長報告

~第3回ゴルフコンペの案内~ 田口委員長

3月27日(木)大宮ゴルフコースで行います。今後LINEやメールでご案内をいたします。

4月24日 IM ゴルフに13名で参加しますので宜しくお願いします。

卓 話

~健康体操の話~

菅原真由美様



上尾西ロータリークラブで活動させていただいています菅沼と申します。宜しくお願いします。今日参加していただいた皆様はこの30分で寿命を何年か延ばしていただけたらと思います。

私は小学生の頃から大学生(日本体育大学)の22歳まで体操を続けていました。その後体操指導員になり今日に至っております。最初は選手の育成をし、戸田市スポーツセンターでオリンピックを目指す子供たちの指導をしていましたが、厳しくやるのが当たり前の環境でした。パリオリンピックで体操の女子選手が喫煙等の問題があり外されてしまったあと若手の選手4名での参加になりました。そこにコーチとして入っていた豊島さんは私の後輩になります。そういう厳しい環

境にいましたが、一生身体を使うので健康寿命を延ばすこと、体のバランスを保つ筋肉をつけること、手先、足先を使うことを指導するスポーツクラブを独立して立ち上げました。サッカー、野球、ダンス等いろいろなスポーツをやってきました。今日は皆さんに簡単にできる健康体操を体験していただきたいと思います。是非ご起立下さい。

= \supset = \supset B O X

岡野副 S. A. A.

●大國会長-菅沼真弓様本日は卓話ありがとうございました。●今井博幸君-菅沼様お忙しい中来ていただきありがとうございます。●武内昇君-菅沼様卓話ありがとうございます。●榎本武司君―お客様ようこそ。卓話ありがとうございました。●岡野政美君-菅沼様卓話ありがとうございました。●一田口充君-菅沼様卓話ありがとうございました。●金子一夫君-体、大切です。●斎藤幹事、杉中尚平君、新井金作君、松村重之君-よろしくお願いします。

合計 22,000 円 (累計 372,000 円)

出席報告

例会	会員	対象会 員+ 免除出席	出席 (免除含)	欠席	MU	出席率 (%)
1907	20	20	12	8		60.00
1905	20	20	14	6		80.00

四つのテスト

田口 充会員

言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

フェローシップ委員

2月 杉中尚平会員 新井金作会員

フェローシップ委員は例会開始 40 分前に来て 受付をお願いします。













